

フラワーロード



花の手入れは、元気な方と一緒に頑張ります。

お誕生日おめでとうございます

9月20日 〇〇さん



93歳の誕生日

9月13日に入居された〇〇さんは、20日が誕生日だったことを忘れていただき、皆さんからの祝福にとでも驚かれました。花からのプレゼントの色紙のご自分の写った写真を見られて「私の顔は、これなんだね。こんな顔しているんだね」と何度も話され、長い人生の重みをかみしめておられました。

平成24年9月1日 プロレスラーの慰問

地域の商工会でお祭りに参加するため春光台入りしていた北斗プロレスの方々が、入居者の皆さんを励ましにやってきました。余りにも大きな体で、しかもレスラー姿で登場したので、みなさんとてもビックリした表情をされ、中には居室にこもられてしまった方も

いたほどの迫力でした。それでも大きなチャンピオンベルトを見て目を輝かせ、始めは恥ずかしがりますが、腕相撲をするようになった時は、「負ける…」と言いつつも勝負をしてくれ、レスラーの方にチョップをさせてもらったりと喜ばれてお

りました。女性スタッフも、お姫様抱っこをされて喜んでおりました。帰るときには、レスラーの方も打ち解けて近くに駆け寄り「握手して下さい」と話すと、快く皆さんと握手をしてくれました。サービス満点の企画に皆さんとても大喜びでした。



平成24年9月2日 ふれあいマルシェ



近くの地区会館で商工会のお祭り「ふれあいマルシェ」があり希望者を募り行ってきました。焼き鳥、たこ焼き、ラーメンなどたくさん食べ、「ビール、ビール！」とうるさい入居者様も何人もおり、飲んだり食べたりしながらゴスペルやジャズなどをきき楽しんでいます。また

前日花に来てくれた北斗プロレスの興行もあり、迫力ある格闘に「こわれてしまう、こわれる・・・」「やれやれー!!」など声を出しておりました。参加された入居者様にストレスがあるようであれば、帰る時にはきれいなサッパリ吹き飛んでいると思われま

平成24年9月15日 収穫祭



家族様と一緒に野菜の苗を植えた畑も、早いもので大方の作物の収穫を終えることができ、感謝の気持ちと翌年の豊作を祈願して収穫祭を行いました。収穫祭の食事は、定番になりました。焼きたてのチャンチャン焼きです。施設長は、この日のために鮭を4本釣りに上げ、心を込めて3枚に下ろしておりますが、おそろくは「やっとなか釣れた…」と胸をなで下ろしているのではないのでしょうか? とまあそれの鮭のお膳で皆さ

んチャンチャン焼きをお腹一杯食べることが出来ました。また、畑で採れたカボチャやジャガイモも焼いて食べましたが、甘くてホクホクしてとても美味しかったです。また、天候にも恵まれて秋晴れの清々しい気分の中皆さん「おいしわ〜」と言う声がよく聞こえて来ていました。「今年の畑は豊作だったの? こんな美味しい物いっぱいどれだけでも嬉しいわ!」と皆さんの会話も弾みとても嬉しそうでした。



平成24年9月18日・25日 高校生との交流会

今年も旭川藤女子高等学校の一年生の皆さんが来てくれました。自己紹介では少し緊張していましたが、風船バレーなどをしていくと緊張がすぐに解けたのか、自分の所に来たボールを嬉しそうに打ち返して「いや〜熱い、いい運動になるね〜」とニコニコしながら生徒さんに話していました。入居者様は、おやつと一緒に食べてお話しをしたり、玉

入れなどのちょっとしたゲームをしたり、歌を歌ったりしながら1時間30分の短い時間を過ごしております。高校生が帰る時には皆さん見送りに行き「また来てちょうだいね」ととてもおもしろい高校生に話をされている方が何人もいました。10月11月との交流会が続きますが、入居者様も楽しみにしているようです。



平成24年9月15日 花の敬老会



今年の敬老会は、最高齢の98歳の方をはじめ、米寿、喜寿の方が1名ずつおられ、皆さん元気に敬老の日を迎えることができました。式典では、施設長より「私たち若い世代は、皆さんをはじめ目上の方々から色々なことを学ばせて頂き今日があります。その感謝の気持ちを込めて若い世代を代表して祝福させていただきます。」

とお祝いの言葉があり、続いて家族の会長様より「目標を持って、またこれからも、有意義に元気で過ごして下さい。」とお言葉をいただいております。その後一人ずつ名前の呼ばれ、施設長より記念品を贈らせていただきました。これからもお元気で長生きしていただきたいとスタッフ一同祈願しております。



平成24年9月22日 「森の恵み・感謝の日」



近くにある緑の森ガーデン癒しの森で「森の恵み・感謝の日」というイベントがあり、数名の入居者様と出かけて来ました。木々に囲まれた会場では、チエンソーアートの世界チャンピオンが太い丸太を削り、見る見るうちにフクロウのベンチを作り上げ、皆さん釘づけ状態で見えていました。農高吹奏楽部の方のノリの良い演奏や踊り見られて、「たのしいね〜」といわれ、自然と入居者様の体も揺れていて、言葉通りとても楽しそうに見えました。また森の中でゆっくりと散歩をされる方やベンチでゆったり体を休める姿に、とても心地よい時間の流れが伝わってきます。お昼は、焼き鶏や焼き野菜、自分でトッピングした手作りピザを窯で焼くなどして、お腹一杯食べております。帰ってからこの日の感想を聞くところ、山の中の空気はとても気持ち良かった、森の中の吹奏楽を聞くのもよかったです。短時間で彫って素晴らしい物ができて、美味しいものを食べて楽しかったけど、帰ってきたらど〜と疲れた!アハハ・・・と話しておりました。

夜間想定火災避難訓練



夜間の火災を想定した避難訓練を実施しています。花の夜勤体制はABそれぞれのユニットに一人づつ職員を配置していますので、一人で9人の入居者様を避難させなければなりません。本当の火災に備え、時間がかかっても一つ一つの動作を確認しながら安全確実に入居者様を外に誘導しています。また2階の寝たきりや車いすの入居者様は、1、2階のスタッフ共同で布団でくるみ、その布団ごと階段から外へ搬送しています。終了後すぐに反省会と総評を行い、次回の避難訓練に生かしております。

平成24年9月30日 「十五夜」



花の畑で採れたカボチャを使い、朝から沢山の団子を作ってきれいに飾り、スキム近くの空き地からとり花瓶に飾り、十五夜の風情を楽しみました。皆さんで、おみじやどんぐりころころなど歌を歌ったり、団子を食べたりしながらゆったりと過ごしています。壁の貼られた月やウサギの絵を見て、「うまく作られている!」と入居者様よりお褒めの言葉も頂きました。

施設長コラム

今回視察したスエーデンの施設では、廊下に手すりがないとありませんでした。トイレやお風呂などの主要な箇所では手すりが付いているものの、それ以外の共有スペースには手すりがないのです。なぜかと尋ねると、スエーデンの方は足腰が弱くなることよりも歩行器を使うのが一般的だそう。街の中で気にして見ていると歩行器を使う方が意外に多く感じています。認知症の方でも、初老

期に歩行器に馴染み使用していれば、発病しても歩行器の使用が体に馴染んでおり無理なく使用が可能となります。それによって足腰をはじめ体調の維持がとてもしやすくなると感じました。また周りの方が歩行器を使う方が多く見られることにより、花では手すりが入居者様にとって移動に欠かせない手段になっていますので、手すりがない施設を目指すには無理がありますが、自分

